

総合人間科学 人 類 学

1 構 成 員

	平成19年3月31日現在
教授	1人
助教授	0人
講師（うち病院籍）	0人（ 0人）
助手（うち病院籍）	0人（ 0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（ 0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	1人

2 教員の異動状況

佐藤 弘明（教授）（H11. 10. 1 現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成18年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3編（ 2編）
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	3編（ 3編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1編（ 1編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（ 0編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. SATO, H A brief report on a large mountain-top community of *Dioscorea praehensilis* in the tropical rainforest of southeastern Cameroon. African Study Monographs Supplementary

Issue 33: 21-28, May 2006.

2. 佐藤弘明, 川村協平, 稲井啓之, 山内太郎: カメルーン南部熱帯多雨林における"純粹"な狩猟採集生活: 小乾季における狩猟採集民Bakaの20日間の調査. アフリカ研究69: 1-14, 2006.
3. 佐藤弘明: 樹木を同定するには何が必要か・アフリカ熱帯雨林狩猟民Bakaの樹木同定テストから. . . 浜松医科大学紀要21: 7-20, 2007.

インパクトファクターの小計 [0.00]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 佐藤弘明, 川村協平, 稲井啓之, 山内太郎: カメルーン南部熱帯雨林における実験的狩猟採集生活: 食物は十分に確保できたか. 佐藤弘明編 [平成15年度-17年度科研費報告書: 熱帯雨林は人類にとって魅力的環境か: カメルーン南部熱帯雨林住民の生態人類学的研究所収, pp. 11-36, 2006.
2. 佐藤弘明: 病と健康の間で 医療-アフリカから考える. 平成18年全国大学保健管理協会・東海・北陸地方部会報告書. 74-80. 2006.
3. 佐藤弘明: "離島無医村地域における民間医療薬の役割の動態"に関するコメント. エコソフィア, 17: 120, 2006.

インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 佐藤弘明, 保坂和彦, 山極寿一: 座談・森林と狩猟生活はヒトに何をもたらしたか. 山極編 ヒトはどのようにしてつくられたか. 岩波書店. 95-113. 2007

4 特許等の出願状況

	平成18年度
特許取得数 (出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成18年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0件 (0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	0件
(6) 一般演題発表数	0件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成17年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成17年度
産学共同研究	0件